

# アユの遡上環境改善の取り組み



すいこうもん  
～江戸川水閘門で行うH31年春の取り組み～

## 江戸川水閘門とは

- 昭和18年（戦時中）に完成した施設です。
- 水門と閘門を合わせて江戸川水閘門と呼びます。
- 目的は、「塩水が江戸川に入ることの防止」と「江戸川の水位調整」の2つです。
- 閘門は、2門の水門で閘門内の水位を調整することにより、船が海と江戸川を行き来できる施設です。
- 安定した水を供給するため、毎日24時間体制で監視と操作をしています。

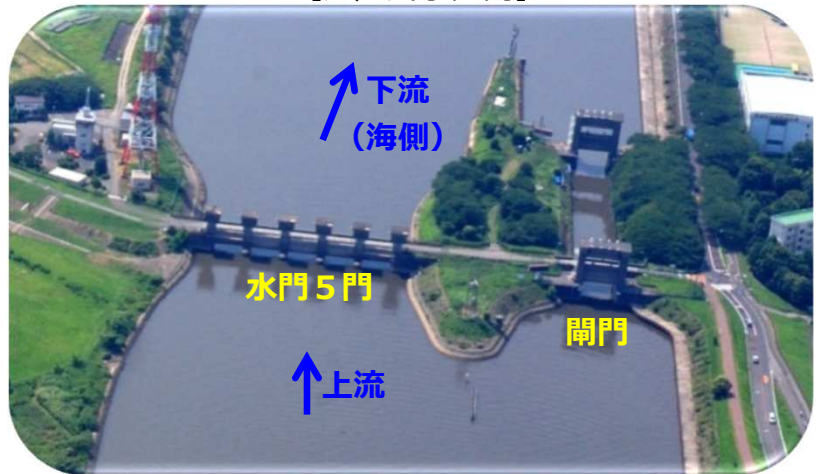


江戸川水閘門がないと、浄水場に塩水が入って水道水が飲めなくなります。

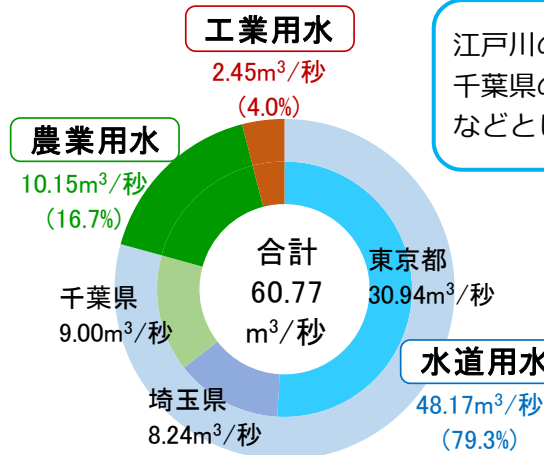
## 【江戸川の水(水道水)を飲んでいる範囲】



【江戸川水閘門】



【江戸川の水の使われ方】



江戸川の水は、東京都、埼玉県、千葉県の約1,000万人の飲み水などとして利用されています。

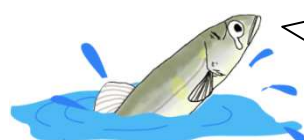


※数値については小数点第2位未満を四捨五入 (平成31年2月末現在の水利権等)

## 江戸川水閘門とアユについて

- 毎年春にアユの稚魚が海から江戸川に上がってきます。
- でも、江戸川水閘門には魚の通り道（魚道）がないため、アユが江戸川水閘門から上流に上りにくくなっています。

## 【江戸川水閘門付近で水門が開くのを待っているアユ】

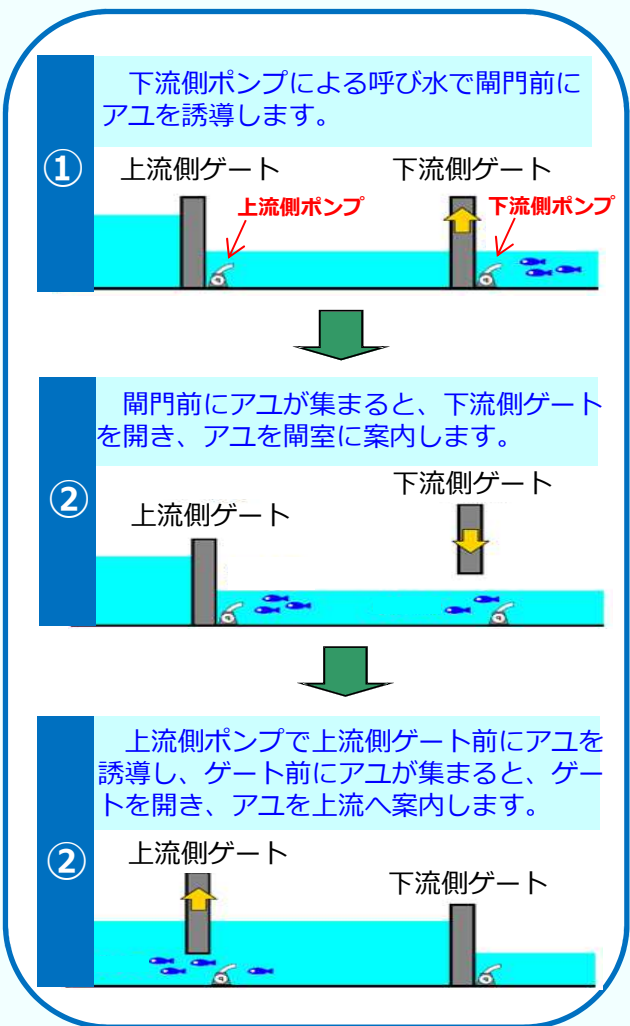


あれ～水門と閘門が閉まっている。上に上れないや・・・

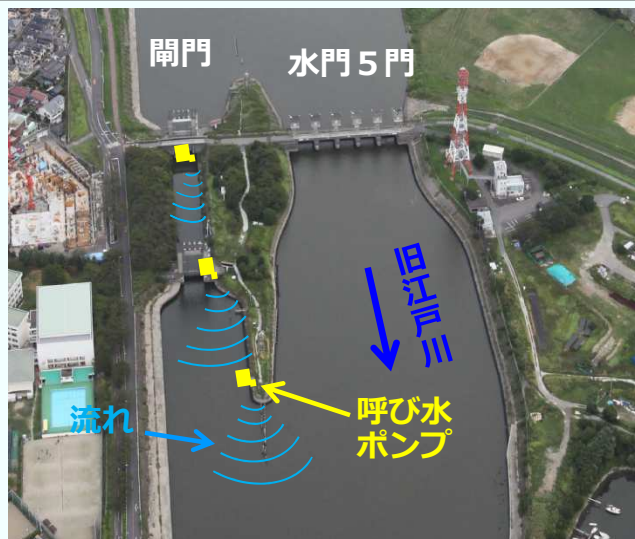
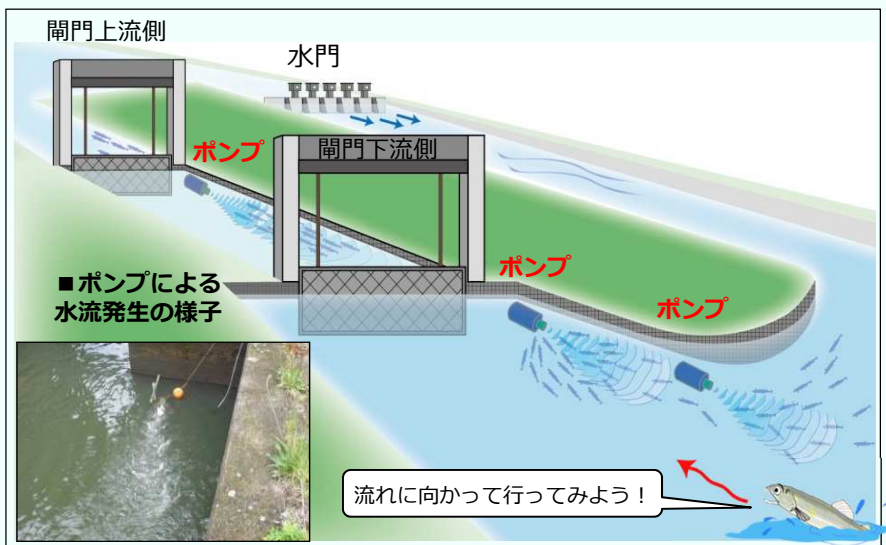
# 江戸川水閘門での取り組み(アユの遡上対策)

- 船が通るときだけに開けていた閘門を定期的にかけることにより、アユが閘門を通過して上流に上りやすくしています。(閘門特別操作)
- また、ポンプを使って閘門下流に水を流すことにより、アユを閘門下流に誘導します。これは、「呼び水」と言って、アユが流れに向かって泳ぐ習性を利用したものです。(呼び水ポンプ)
- 閘門下流に集まったアユは、扉が開いた閘門から上流に移動することが出来ます。

## ■ 閘門特別操作イメージ



## ■ 呼び水ポンプイメージ

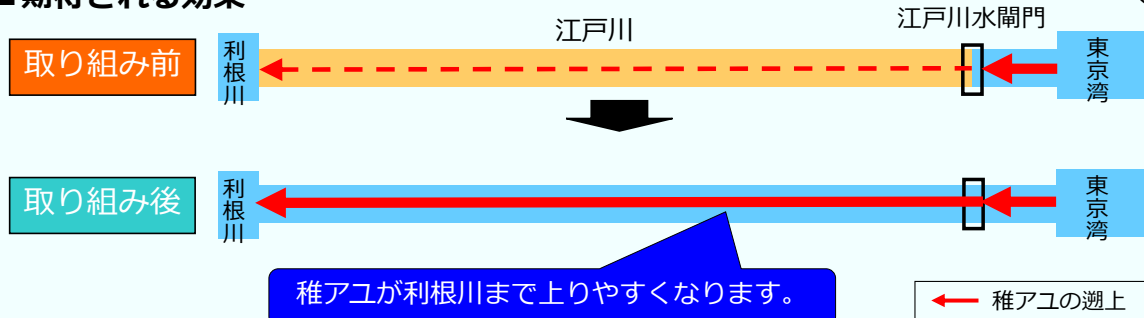


## ■ 取り組み期間 (予定)

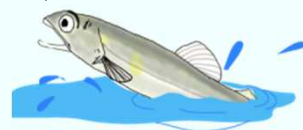
対策期間	3月11日(月)～5月31日(金) ※アユが海から江戸川に上がる間
対策時間	閘門特別操作 : 毎日1日9回(8時台～16時台) 呼び水ポンプ : 毎日7時～17時(閘門特別操作終了まで)

※施設及び川の状況によっては、中止する場合があります。

## ■ 期待される効果



水門が全部開いている時にしか上れなかったけど、閘門が定期的にかくことで上りやすくなったね!



国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所

〒278-0005 千葉県野田市宮崎134 TEL. 04(7125)7311 (代表)

「洪水時の川の水位は」

川の防災情報

で **検索**